

日本建設機械レンタル協会宮城支部

平成 29 年度 第 6 回理事会 議事録

日 時 : 平成 30 年 3 月 12 日 (月) 12:00~14:00
場 所 : 協会会議室
出席者 : 菅野支部長、山本、池田、東海林、蛭名各副支部長、
菅原 (代理大富)、浦田、成澤 (山内)、高橋 (光)、中野 (代理大塚)、
天道各理事、宝池、小野各監事 計 13 名、欠席 4 名
事務局 小原

—配布資料—

1. H29 年定期総会スケジュール他
2. メイン行事予定表 (2/28 現在)
3. 収支報告書 (2/28 現在)
4. HP アクセス集計表 (2/28 現在)

山本専務理事が、開会にあたり上記出席者を確認し、理事会の成立を確認した。
又、議長は定款第 13 条第 4 項の規定により菅野支部長が任にあたることを報告した。

* これより、菅野支部長が議長を務めた。

* 菅野支部長挨拶(要旨)

・年度末で何かとお忙しい中出席いただきありがとうございます。
震災から 7 年が経過したが、震災後は各協会員が一丸となって復興に取り組んできた。沿岸部では、防潮堤の後期が若干の遅れがあるようだが、概ね順調に推移しているようだ。最近とみに業界内での価格競争が激化しており、震災発生時の経験等が企業活動等に生かされているのか自問自答する必要があると思われます。
本日は、定期総会に向けた議題もあり宜しく検討をお願いしたい。

以下省略

議事録署名人…… (有) ウラタ建機リース浦田哲郎理事、ユナイト㈱成澤敬太理事 (代理) 山内智裕氏の 2 名を指名した。

1. 本部理事会（1/17）の追加報告-----菅野支部長

- ・ 資格制度＝レンタル業管理制度（登録制）が新年度よりスタートするが、補正予算（2千万円）が追加された。制度は外部に委託して作成するとの事。
- ・ レンタル売上が下落した理由と単価下落の相関関係等について東京支部を中心に検討してゆくようだ。
- ・ 働き方改革に伴い、業界としての取り組みをアピールする必要がある。（業界イメージのアップを図る）
- ・ 長期リースに掛かる月例点検費用を確実に回収できるよう取り組む。
- ・ レンタル基本約款の提示の徹底と内容確認の励行による利益確保を図る。
- ・ 「第一線営業担当者合同研修会」開催に伴う全体会議の内容について、アンケート等による会員意識の意向調査を検討する。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

2. 第45回定期総会について-----小原事務局長

（別紙資料の通り）

- ・ 5月17日（木）17:00～仙台サンプラザにて開催となる。
- ・ 開催スケジュール等については、昨年同様の内容で考えている。
- ・ 昨年の参加者は130名、懇親会は160名であった。同規模を予定している。
- ・ 受付応援として㈱カナモト、㈱アクテイオから各2名をお願いしたい。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

3. その他

- 1) 3月16日（金）本部でIC委員会（意見交換会）が開催されるので、支部としての意見を徴収しておきたい。
 - ・ 採算性を見越し大型現場での活用が中心となるのか
 - ・ スキャナー使用による玄座の運用の利便性。
 - ・ 顧客によるコストのしわ寄せ等の問題の解決が心配。
 - ・ 投資金額が大きく、単価等利益率の確保が課題等、意見があった。
- 2) 建産連に参加したが、週休2日制の完全移行について発注段階での検討が本格化してきている

4. 意見交換

- ・パート雇用で求人したが募集がない。ネット求人が必要な時代となってきた。
- ・不当廉売を防ぐために、適正な価格の維持が必要だが、専門家による講習会等の企画をお願いしたい。又、仲間貸価格の目安価格等の検討はできないのか。
- ・購入価格が上がり、貸出価格が下がっている。その差が大きくなってきており、経営を圧迫している。
- ・元受価格と下請価格の差を明確にする必要あり。
- ・分科会活動で、単価構成についての再勉強会を検討願いた。
- ・協会活動を通して適正価値の確保を目指す。
- ・ICT に取り組み中だ。新卒者はこの業界に魅力を感じていないようだ。福利厚生等でのバックアップの検討が必要。
- ・営業力の不足を感じる人が多い。社員教育の強化が必要と考える。
- ・全社的に災害訓練を実施したが、南海地震を想定して行ったが、経験者である東北地方の支援方法等が重要と感じた。

以下省略

上記について、討議の結果異議なく承認された。

成 30 年 3 月 12 日

議事録署名人

理 事

(有)ウラタ建機リース

浦田哲郎 

理 事

ユナイテッド

山内智裕 